

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループについて

1. 検討背景

- 子供たちの学び舎生活がどのように豊かになるのか、**具体的な事例から効果を収集・分析**し、広く発信することが求められている。

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について（最終報告）」（令和4年3月）学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議

- 次期教育振興基本計画の策定に向けた審議の中で、2040年以降を見据えた総括的な基本方針として、「**日本社会に根差したウェルビーイングの向上**」が掲げられている。

「次期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について（報告）（素案）」（令和〇年〇月）中央教育審議会教育振興基本計画部会

2. 実施内容

新しい時代の学びを実現する学校施設を具現化するため、**ウェルビーイングの観点も考慮し、具体的な整備事例を収集**する。その際、当該学校施設による**教育上・生活上の効果を検証**する。学校関係者等の参画による豊かな学びの環境整備の観点から、**プロセスも事例収集**する。

＜ウェルビーイングの観点＞

- ・ 開放的協調性と多様なつながり（柔軟で創造的な学習空間、地域や社会と連携・協働する共創空間、複合化など）
- ・ 教師のウェルビーイングの確保
- ・ ICTを活用し、一人一人の状況やニーズに応じたよりよい教育環境の実現
- ・ 安全・安心な環境

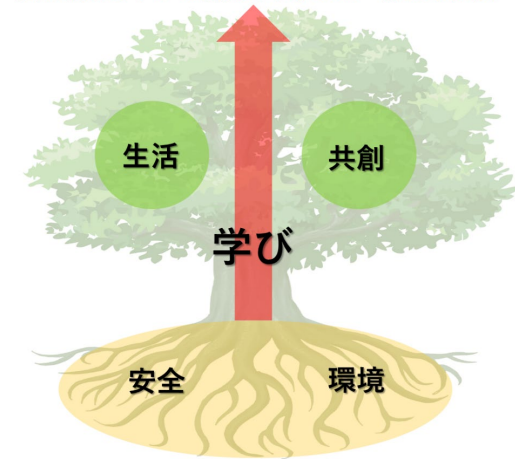
3. 成果イメージ

新たな時代の学びを実現する学校施設の整備事例と効果、学校づくりのプロセスをまとめた**アイデア事例集**を作成。

4. スケジュール

令和5年度中に、「アイデア事例集（案）」を作成

全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



新しい時代の学び舎として目指していく姿（イメージ図）

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

- 学び 〓 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、**柔軟で創造的な学習空間を実現**する
- 生活 〓 新しい生活様式を踏まえ、**健やかな学習・生活空間を実現**する
- 共創 〓 地域や社会と連携・協働し、**ともに創造する共創空間を実現**する

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

- 安全 〓 子供たちの生命を守り抜く、**安全・安心な教育環境を実現**する
- 環境 〓 脱炭素社会の実現に貢献する、**持続可能な教育環境を実現**する

アイデア事例集イメージ「新たな学校施設づくりのアイデア集」(平成22年1月)

平成20年に改訂された学習指導要領において、21世紀の教育の考え方や「生きる力」という理念が示されたこれに対応するため、新しい工夫があり他の学校の参考になるとと思われる学校施設のアイデアを収集



新たな学校施設づくりのアイデア集～充実した教育活動と豊かな学校生活のために～

目次

I. はじめに

1. 背景～21世紀の教育の考え方	1
2. これからの学校づくり	2
3. 学校施設の耐震化の推進等	3
4. 本アイデア集について	3
本アイデア集の使い方	4

II. 新たな学校づくりのアイデア例

新しい教育への対応

確かな学力

児童生徒の自主的な学習活動を支える空間	
1. クラスルームでできることを増やす	9
2. 複数のクラスでフロアをのびやかに使う	11
3. すぐに集まったり分かれたり	13
4. 教科学習の魅力を高める	15

観察・実験、体験活動の充実のための空間

5. ゆとりあるスペースで多様な体験やものづくり	17
6. いつでも本が手に取れる	19
7. ICTで学習活動が広がる	21
8. ここに行けば作品が見られる	23

児童生徒の表現力を育む活動を支える空間

9. 大階段が劇場に	25
10. 外国語にもっと親しむ	27

豊かな心

児童生徒、先生の交流を生む空間

11. 子どもたちを気持ちよく迎え入れる	31
12. 学校中が出会いの場	33
13. 心地よいトイレや手洗い	35
14. 先生がもっと身近に	37

豊かな芸術空間

15. 晴れの舞台を作る	39
16. 自分たちの作品が学校を飾る	41

健やかな体

日常的な体力づくりを支える空間

17. 校内どこでも気軽に体力づくり	43
18. 思いきり運動できるスペース	45

食育の充実のための空間

19. 調理する・食べるがワンフロアで	47
---------------------	----

今日的課題への対応

環境との関わり

環境教育をすすめる空間

20. 学校全体が環境教育の教材	51
快適な学習・生活環境づくり	
21. まぶしくない、暑くない教室	53
22. 風が通るさわやかな教室	55
23. 木の学校で学ぶ	57
24. 豊かな緑にかこまれながら	59

長く使い続ける

25. 地域性を活かしたデザイン	61
26. 長く使い続けられる学校	63

地域との関わり

地域の力を最大限に活かす学校づくり

27. 地域みんなで子どもを守る	65
28. 何かができる、みんなに会える	67

新たな公共施設としての学校

29. 学校をまちづくりの拠点に	69
30. 体を動かかしに学校へ行こう	71

III. 改修による学校施設の再生の例

古い学校を安全・安心な校舎に

事例1 耐震化等の安全性の向上と教育環境の改善	75
事例2 安心な空間を作ろう	76

快適な学習空間に

事例3 自然光で明るい学校にする	77
事例4 過ごしやすく快適な室内環境	78
事例5 あたかみと潤いのある空間に	79

余裕空間の活用

事例6 より多様な学習空間を	80
事例7 誰もが足を運ぶ地域の拠点	81

改修で学校はこんなに変わる!

事例8 空間の可能性を広げる	82
事例9 心安らく場所を作ろう	83
事例10 地域の顔として生まれ変わる学校	84

参考資料

参考1 学校施設の在り方に関する調査研究について	87
参考2 新学習環境ワーキンググループ委員名簿	90
参考3 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議検討経緯 (小中学校施設部会 新学習環境ワーキンググループ関連)	91
参考4 施設整備事業の概要	92

アイデア事例集イメージ 「新たな学校施設づくりのアイデア集」(平成22年1月)

新たな学校づくりに関する30アイデアについて、写真やイラストを用いながら、「期待される効果」「計画のポイント」「効果的に利用するための注意点」などを分かりやすく解説

7 ICTで学習活動が広がる

～ICT環境を整備し、十分に活用する～

◆◆アイデアの要点◆◆

- コンピュータ、デジタルテレビ、電子黒板などのICT^{※1}環境を学校に整備し、必要な場所が必要な時に十分に活用できるようにする。
- 各教科の授業中での調べ学習や、観察・実験のまとめなどに、積極的に活用して、学習効果を高めることができる。



写真7-1 学習・メディアセンターでのICTを活用した学習の様子(広島府立中央中学校・初中年学級)

■期待される効果

すぐに調べ学習ができる

・身近にICT^{※1}環境を整備することで、コンピュータ教室に移動することなく、調べ、まとめる、発表するなどの学習活動が効果的・効率的に行える。

遠隔地との交流学習

・LAN^{※2}を使った共同学習、他校の子もたちとのオンラインでの討論や意見発表など、他者と関わりながら行う学習も可能となる。

■計画のポイント

校内どこでも利用

- ・コンピュータ教室だけでなく、理科教室や家庭教室での実物授業機の利用や体育の授業での画像の活用等、学級内に応じてICT^{※1}環境を整備する。
- ・収納ラックを用いることで、モバイルPCの移動が容易になり、また学習機での共有がしやすくなる。
- ・無線LAN^{※2}を用いることで、机まわりの配線の必要がなくなり、教室内どこでもICT^{※1}環境を活用できる。

モバイルPCの保管に配慮

・モバイルPCの保管場所については、移動に便利なワゴン式のものを、未使用時に収納したまま充電できる機能のものなどがあるとよい。

■補足説明

- ・図書室と関連づけて、学校の学習・メディアセンターとして計画することも考えられる。
- ・コンピュータ教室は、校内全体のICT^{※1}環境と一体性に計画することで、センター機能を見ることができ、調べ学習と連携して、まとめる作業や発表などの活動ができるよう、多目的なスペース等と関連付けて計画する。

■効果的に利用するための注意点

- ・モバイルPCや備品の紛失を避けるため、保管場所を念じた使用上のルールづくり、先生や子どもたちに押し付ける。
- ・コンピュータの活用機会が増えることを踏まえ、使用時間の制限や十分な充電の確保など、健康面に配慮する。

図解・実験、体験活動のための空間



写真7-2 コンピュータ教室から離れたメディアスペース(オリエンス女子中高등학교 情報科)



写真7-3 電子黒板も活用した授業の様子(千葉県船橋市立山本小学校)



写真7-4 コンピュータが置かれた多目的なスペースのコーナー(千葉県船橋市立山本小学校)



写真7-5 充電機能もモバイルPCに備ったワゴン(伊賀市立中学校・中学校) (注: 誤植)

8. 新たな学校づくりのアイデア集 新しい授業への対応 22

9 大階段が劇場に

～表現の場にもなる多目的なスペース～

◆◆アイデアの要点◆◆

- 階段状の空間を、発表や討論などの教育活動に活用できるよう計画するもの。
- 身近にある開放的な空間で、聴衆を前に自分の考えや作品について発表することで、説明し表現する力を育むことができる。

■期待される効果

一体感・臨場感ある発表の場

・発表や討論の場としての開放感や臨場感を高め、各教科に向けた発表や討論の活動を盛り上げることで表現する力を育むことができる。

子どもたちが憩う場所

・子どもたちが、腰を下ろして休憩、交流することができる場となる。



写真9-1 階段状の空間での発表(福井県津市立光岡中学校)

25

児童生徒の表現力や発想力を高める空間

■計画のポイント

十分な広さ、幅を確保

・発表人数に応じた十分な広さ、幅の階段とする必要がある。(このため全体の中での階段の面積比率は高まる。)

充実した表現活動を助ける設備

・表現活動を支援するための、例えば、展示用壁紙、移動式黒板、自然光を調整するカーテンなどの設置が考えられる。

音のコントロール

・広い階段で発表する場合、そこでの音が上下階にも届くため、普通教室等との位置関係への配慮や、吸音の計画についての工夫が必要となる。

学校全体の中での位置

・校舎内での配置を工夫することで、表現の場と校内式の黒板、自然光を調整するカーテンなどの設置が考えられる。



図9-1 階段状の空間(福井県津市立光岡中学校)

■補足説明

・体育館やラウンジスペースにおいても、ステージなどを設けることで、より多くの児童を対象とした発表や表現の場とすることができ、

▶▶▶ p.39 [15. 階梯の舞台を作る] 参照

・外を多く使った人たから、中で何をしているかが分かるようにすることで、地域との連携に資することにもなる。

■効果的に利用するための注意点

・事前に、階段階梯の教室で行われる授業の内容を確認しておくことで、音が伝わるという課題に対応しやすくなる。

8. 新たな学校づくりのアイデア集 新しい授業への対応 26

21